

# 一般会計予算は 75 億 8,800 万円

平成 31 年度一般会計当初予算の総額は、75 億 8,800 万円です。  
前年度に比べ 300 万円の増加となりました。  
予算編成にあたり、限られた財源を第七次猪苗代町振興計画の  
さまざまな施策に効率的に配分した予算としました。  
平成 31 年度予算のあらましについてお知らせします。

## 一般会計・歳入

一般会計の自主財源の合計は 27 億 3,246 万 3 千円で、歳入全体の 36.0%となりました。自主財源のうち、主要な財源の一つである町税は、17 億 6,248 万 2 千円(前年度比 948 万 4 千円の減)で、歳入全体の 23.2%を占めています。  
このほか、財政調整基金などからの繰入金  
が 3 億 6,289 万 2 千円(前年度比 3,701 万 2 千円の増)、雑収入などの諸収入が 1 億 7,431 万 4 千円(前年度比 536 万 1 千円の増)など  
です。

依存財源の合計は、48 億 5,553 万 7 千円  
で、歳入全体の 64.0%となりました。依存  
財源の 37.7%を占める地方交付税が 28 億  
6,250 万 2 千円 (前年度比 3,135 万 8 千円  
の増)。次いで 8.9%を占めるのが町債で、6  
億 7,510 万 0 千円 (5,440 万 0 千円の増)  
となりました。  
町債の借りに入に当たっては、交付税措置  
のある有利なものを選ぶなど、負担の軽減に  
努めました。  
内訳は下のグラフのとおりです。

## 一般会計・歳出

歳出では、消費税及び地方消費税の 10%  
への引き上げが本年 10 月から実施される予  
定であるとともに、少子高齢化に伴う経費の  
増加などが見込まれるため、一つ一つの事務  
事業について効果や成果を検証し、経費の節  
減・事務の合理化を進める一方、緊急性など  
の優先順位をつけて重点施策を選別して編成  
しました。  
歳出の 18.3%を占める民生費は、13 億  
8,805 万 8 千円(前年度比 781 万 2 千円の  
増)で社会福祉や児童福祉などに使われる費  
用です。さらに、国民健康保険特別会計、介  
護保険特別会計や後期高齢者医療特別会計へ

の繰出金も含まれます。これに続くのが、町  
道や町営住宅の整備・管理、除雪などに使わ  
れる土木費です。全体の 16.0%で12 億 1,245  
万 1 千円 (前年度比 5,608 万 0 千円の増)  
です。  
その次に続くのが、こども園、小・中学校、  
生涯学習やスポーツ振興などに使われる教育  
費で全体の 15.4%、11 億 6,519 万 0 千円(前  
年比 2,950 万 2 千円の増)。  
以下、借入金償還のための公債費が全体の  
13.2%、10 億 214 万 6 千円(前年比 1,049  
万 7 千円の減)です。  
内訳は、下のグラフのとおりです。

主な事業

○都市公園整備事業	5,400 万円
○公営住宅長寿命化事業	1,800 万円
○統合中学校整備事業	1 億 1,400 万円
○子ども子育て支援給付事業	4,300 万円
○総合運動公園改修事業	1,800 万円

